

独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 河内 隆 様

要 望 書

令和3年12月23日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

北陸新幹線は、大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、東北・北陸・関西・山陰などをつなぐ日本海国土軸の形成に必要な国家プロジェクトである。また、車イス利用者等を含め国内の快適な移動を実現し、交流人口拡大や移住定住促進など地方創生に寄与する重要な高速交通インフラであります。

本市としましては、新幹線開業の経済波及効果を高め、地域の活性化に結びつけていくためには、着実な敦賀開業と敦賀駅の広域的な拠点機能の充実強化が極めて重要と考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 着実な敦賀開業と早期の全線開業について

令和5年度末の敦賀開業を実現できるよう、沿線自治体と情報共有を図りつつ、関係機関一体となって整備を推進するとともに、敦賀・大阪間については、一日も早い全線開業を実現すること。

2 都市施設の同時開業について

新幹線駅前広場などの駅周辺整備については、鉄道・運輸機構、JR西日本、及び福井県との協議を重ねた結果、非常に厳しい工程ではあるものの、概ね新幹線との同時開業にめどが立った。

同時開業をより確実なものにすべく、駅前広場の盛土及び新幹線駅舎と隣接するキャノピーなどの施工については、安全かつ円滑に工事を進めるため、新幹線工事側の協力が最大限得られるよう支援すること。

3 敦賀開業後の利便性確保と自治体負担軽減について

敦賀駅までの北陸新幹線の運行本数は金沢駅と同数程度とするなど北陸新幹線沿線地域間との利便性の向上を図るとともに、並行在来線についても積極的に支援し自治体負担の軽減に努めること。

令和3年12月23日

北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

会長（敦賀市長） 瀧上隆信

北陸新幹線駅周辺施設整備事業費

